



2024年3月期 第2四半期

決算説明資料

2023年11月14日
ヒューマンホールディングス株式会社
(証券コード：2415)

全セグメントで増収となり、利益面は増益

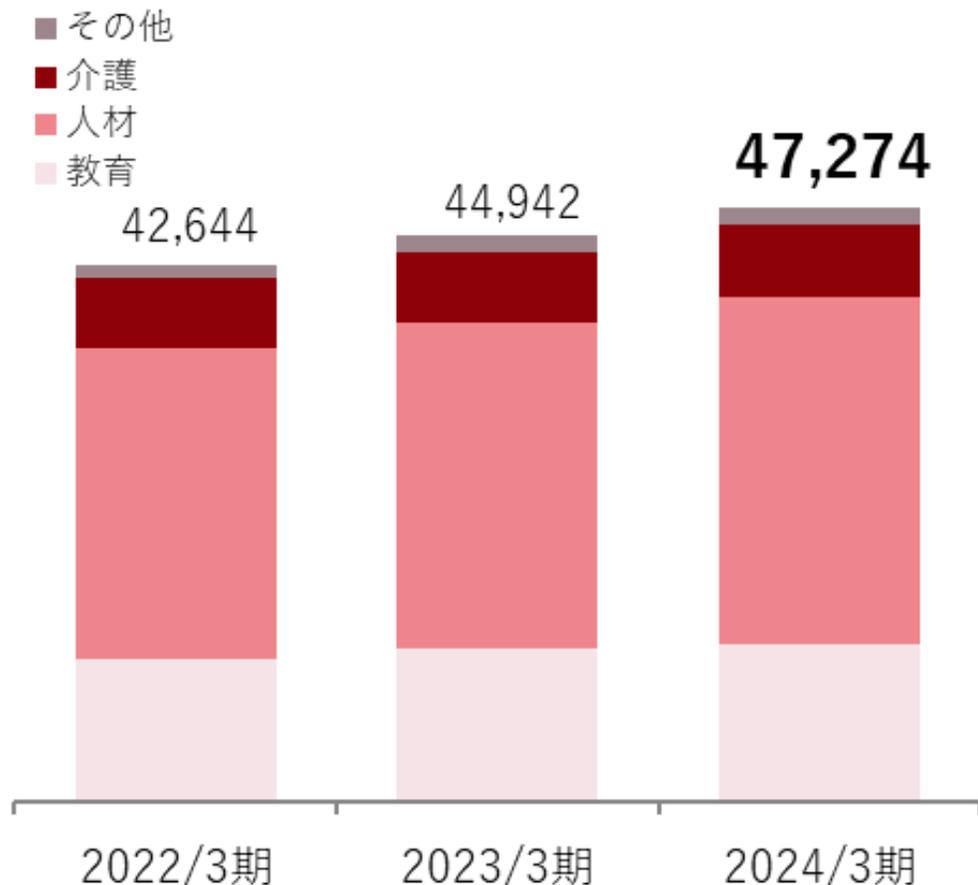
(百万円)	2023/3期 2Q実績 (構成比)	2024/3期 2Q実績 (構成比)	前年 同期比 増減額	前年 同期比 増減率
売上高	44,942 (100.0%)	47,274 (100.0%)	+2,332	+5.2%
営業利益	743 (1.7%)	1,041 (2.2%)	+297	+40.0%
経常利益	891 (2.0%)	1,050 (2.2%)	+158	+17.8%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	560 (1.2%)	603 (1.3%)	+42	+7.6%

- 連結売上高 主に人材事業、教育事業において増収
- 連結営業利益 主に人材事業、介護事業において増益
※全社で従業員の賃上げ（全体平均7%）を実施済み
- 連結経常利益・四半期純利益 前期発生した補助金収入の減少などがあったものの営業利益増益により増益

2024/3期 第2Q連結業績 ～ 売上高 セグメント別 増減要因 ～

連結売上高推移

(単位：百万円)



連結売上高 **47,274** 百万円 前年同期比 **+5.2%**

■ 人材 **27,512** 百万円 前年同期比 **+6.4%**

- 主な要因**
- ・ 旺盛な求人需要により人材派遣の稼働スタッフ数が増加
 - ・ 前期より行っているベースアップ交渉により、派遣契約単価が上昇
 - ・ RPAの契約数が好調に推移し、RPA開発支援に伴う業務受託売上も増加
 - ・ 行政からの業務受託が好調に推移
 - ・ 2023/3期第4Qより株式会社エフ・ビー・エスを連結

■ 教育 **12,469** 百万円 前年同期比 **+2.9%**

- 主な要因**
- ・ 社会人教育事業 キャリアコンサルタントや日本語講師養成講座などの契約数が好調に推移し在籍者数が増加
 - ・ 全日制教育事業 eスポーツカレッジ・動画クリエイターカレッジなどの在校生が増加するものの、主力のパフォーミングアーツの在籍者数が減少
 - ・ 国際人教育事業 入国制限緩和に伴い、留学生の在籍者数が回復
 - ・ 保育事業 認可保育所の新規開設により園児数が増加
 - ・ 児童教育事業 プログラミング教室、科学教室、数学教室の在籍者が増加するものの主力のロボット教室の在籍者数が減少

■ 介護 **5,876** 百万円 前年同期比 **+3.9%**

- 主な要因**
- ・ 「デイサービス」「グループホーム」における利用者数が増加

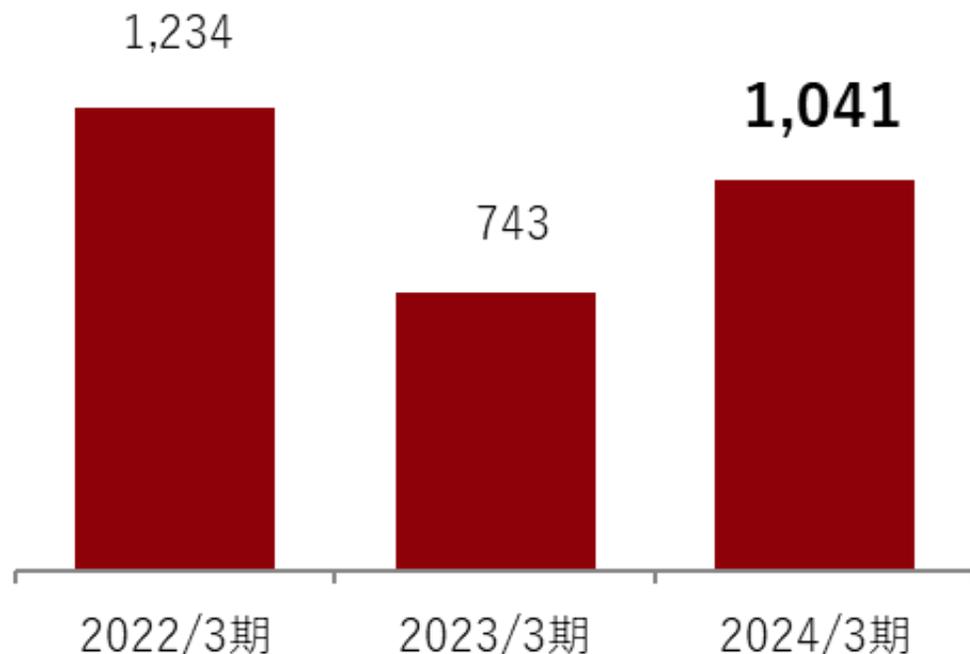
■ その他 **1,416** 百万円 前年同期比 **+7.6%**

- 主な要因**
- ・ IT事業において、WEBマーケティング分野における受注が好調に推移

2024/3期 第2Q連結業績 ～ 営業利益 セグメント別 増減要因 ～

連結営業利益推移

(単位：百万円)



連結営業利益	1,041 百万円	前年同期比	+40.0%
人材	785 百万円	前年同期比	+44.8%
主な要因	・ 利益率の高いRPAの契約およびRPA開発支援に伴う業務受託の売上が増加		
教育	126 百万円	前年同期比	▲22.2%
主な要因	・ 社会人教育事業 企業研修などのリスキング案件や行政案件獲得のための営業要員増強のための人件費が増加 ・ 全日制教育事業 教室稼働率悪化に加え、運営費用などのコストが増加 ・ 保育事業 公定価格改定に伴い、人件費が増加 ・ 児童教育事業 STEAM教室の営業強化のための人件費が増加		
介護	131 百万円	前年同期比	+405.4%
主な要因	・ デイサービスの稼働率が改善		
その他	▲46 百万円	前年同期比	▲40 百万円
主な要因	・ IT事業 増収したものの営業費用が増加 ・ スポーツ、ネイル事業 減収により減益		

連結業績予想の修正はなし

(百万円)	2024/3期 2Q実績 (構成比)	前年 同期比 増減率	2024/3期 通期予測 (構成比)	前年 同期比 増減率
売上高	47,274 (100.0%)	+5.2%	97,053 (100.0%)	+6.0%
営業利益	1,041 (2.2%)	+40.0%	2,697 (2.8%)	+19.7%
経常利益	1,050 (2.2%)	+17.8%	2,632 (2.7%)	+4.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	603 (1.3%)	+7.6%	1,537 (1.6%)	+5.8%